すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して

リケンテクノスグループは、めまぐるしく変化する社会の中で、先端技術を支え、産業を支え、日本を、そして世界の未来を支えるために、日々挑戦し続けています。2016年に3ヵ年中期経営計画を始動させ、ACT NOW! ACT TOGETHER! 2018という経営方針のもと、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指してまいります。

私たちの強みである「独創的で卓越した樹脂素材の配合加工技術」は、お客様と共に進化し、3ヵ年中期経営計画の最終年度である2019年3月までには、さらにグレードアップした様々な製品をお届けいたします。今回の特集では、リケンテクノスグループの技術がどのような形で、皆様の生活の中でお役に立てているのか、その一端を分野ごとにご紹介致します。小さな改良を積み重ねながら何十年も販売されているロングセラーグレードから、最新の技術が詰まった新商品まで幅広く、社員の声と共にご紹介致します。

私たちが目指していること

すべての生活空間に
快適さを提供する
リーディングカンパニーを
目指してまいります。

今動き出せ!
仲間とともに!

～すべての生活空間に快適さを提供する
リーディングカンパニーを目指して～

鉄 道

技術本部 研究開発センター 第2開発室
第2グループ 副主任研究員
富高（とみたか） 慎哉（しんや）

さわり心地が良く、かつ鉄道車両の難燃規格をクリアできる材料として、肘掛けに採用いただきました。

この製品は我々の材料設計力だけではなく、一緒に開発を行ってきた成形メーカー様と設計メーカー様の力がそれぞれ融合し、協働で作り上げた“合作品”です。

事例01 大阪環状線 323系車両 優先座席用肘掛け

線区史上初の専用設計車両。細部にいたるまでこだわって設計された車両です。内装も、乗り心地に配慮され様々な工夫がなされています。

営業本部 建材・建装材ビジネスユニット
建材・建装材大阪グループ グループリーダー
臼井（うすい） 信幸（のぶゆき）

建材・建装材ビジネスユニットでは、「快適な生活空間を提供する」をモットーに日々提案活動を行っております。今回肘掛け用で採用いただいた材料は、人が触れた瞬間に快適さを感じることができる、触感にこだわった「E触感®エラストマー」です。世の中には触感以外にも人が快適さを感じられるものは沢山あります。そのような材料をどんどん提案してまいります。

事例02 鉄道駅 盤内配線

駅には、多くの電線が走っています。電線を守るための被覆材としてリケンテクノスのコンパウンドが使われています。燃えにくく頑丈でありながら、簡単に曲げられるしなやかさを実現することが求められています。

イメージ写真

営業本部 電材ビジネスユニット 電材東京グループ
山本（やまもと） 泰輔（たいすけ）

採用製品は、ハロゲンフリーコンパウンドの中で非常に柔軟性に優れており、ケーブルの被覆材に使用すると可撓性（かとうせい）（=しなやかさ）が向上され、お客様に大好評です。

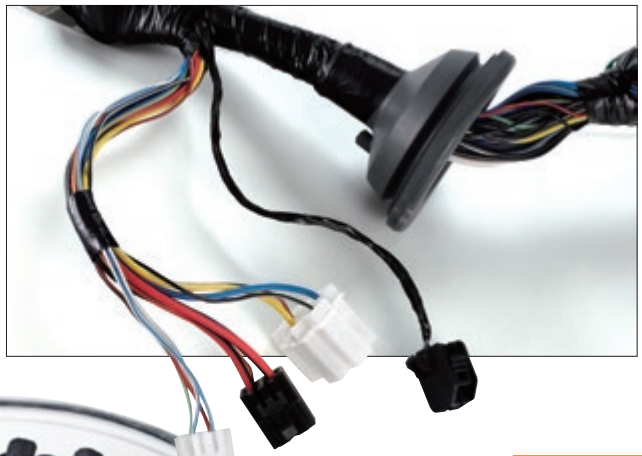
敷設現場での作業性がアップし、お客様の製品としても大きな強みになりました。また基本的な性能はもちろんのこと、架橋工程*が不要で、従来品と比較して押出加工性が良いため、客先の製造設備を選ばずに、どのラインでも成形できるという点も喜ばれました。

*架橋工程：鎖状高分子の分子間に橋を架けたような結合をつくる工程。

自動車

事例03 ワイヤーハーネス

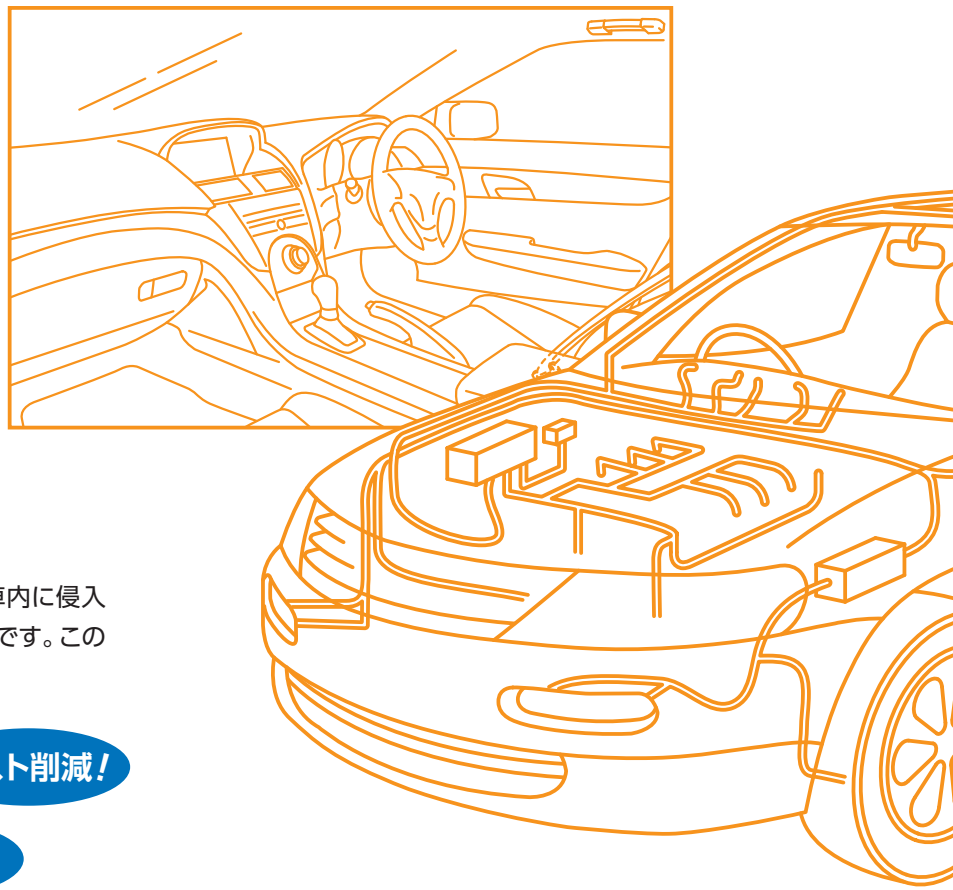
自動車に張り巡らされているワイヤーハーネスは、1台あたり数kmにもおよびます。そのワイヤーハーネス被覆材向けのリケンテクノスグループのコンパウンドは、世界シェアの30%を占めています。



営業本部 電材ビジネスユニット
電材東京グループ 課長代理
齋藤（さいとう） 真一（しんいち）

自動車用ワイヤーハーネスは、自動車が走ったり、止まったり、窓を開けたり、室内温度をコントロールしたり、目的地を捜したり、音楽を聞いたり、といった安全・快適さを制御する電線を束にした集合部品のことをいいます。人の体で例えるならば、血管といったところでしょうか。リケンテクノスは、グローバルQCDTE*体制を駆使し、色々な国に製品を供給しております。

*グローバルQCDTE：品質・価格・納品・技術・環境



事例04 シール材

自動車のドアがきちんと閉まるのも、雨が車内に侵入しないのも、密閉・密封用のシール材のおかげです。この部品に多くのコンパウンドが使われています。

軽い！　省エネ！　コスト削減！
高耐熱性！　高耐油性！

実はゴムよりも

営業本部 車両ビジネスユニット 車両東京グループ グループリーダー
鈴木（すずき） 佑二郎（ゆうじろう）

リケンテクノスのコンパウンドが使用されているシール材。グラスランチャンネルやベルトモール、グロメット・ブーツ材料、モーターシール、船外機のシール部品として使用されています。自動車用シール材は、開閉時の水や埃の侵入を防いだり、騒音を軽減させたりと、室内を快適に保つ重要な役割を担う部品です。更なる機能性の向上を目指し最適な材料を提案し続けてまいります。

RIVIC®(リビック®)の
内装部品加飾例

事例05 加飾部品

自動車の中を居心地の良い空間にするため、部品を彩るフィルムが使われています。

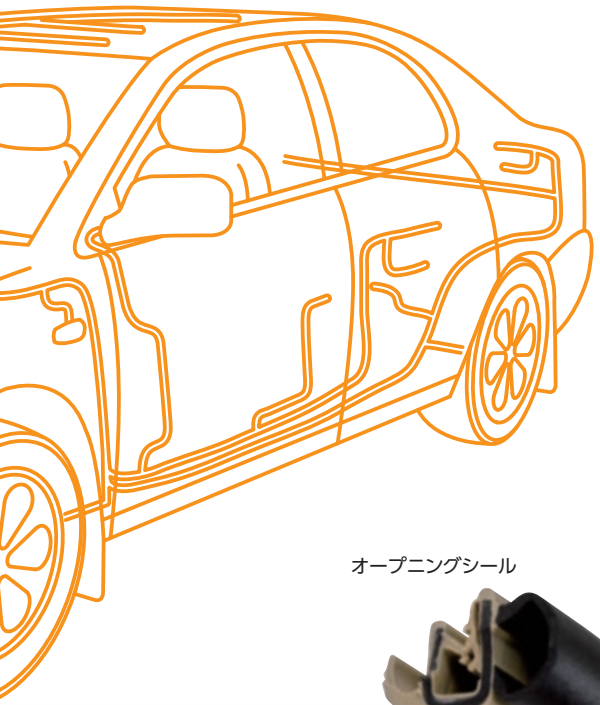
デザイナーと共に、新しい意匠を生み出していきます。

RIVIC®(リビック®)の外装部品加飾例

技術本部 研究開発センター
第1開発室 第2グループ 副主任研究員
鈴木(すずき) 康広(やすひろ)

RIVIC®(リビック®)は、リケンテクノスがこれまでのフィルム製品で培った設計・意匠・加工技術をフル活用した加飾フィルムです。従来製品のような印刷グラフィック表現に加えてエンボス加工によるテクスチャー表現が可能です。樹脂部品に色柄や手触り感、視覚効果も与えます。

独自の意匠性と高い耐久性で自動車内装用途を中心に採用拡大中です。さらに次世代自動車開発に貢献するため外装用途に適合させる開発も進めております。

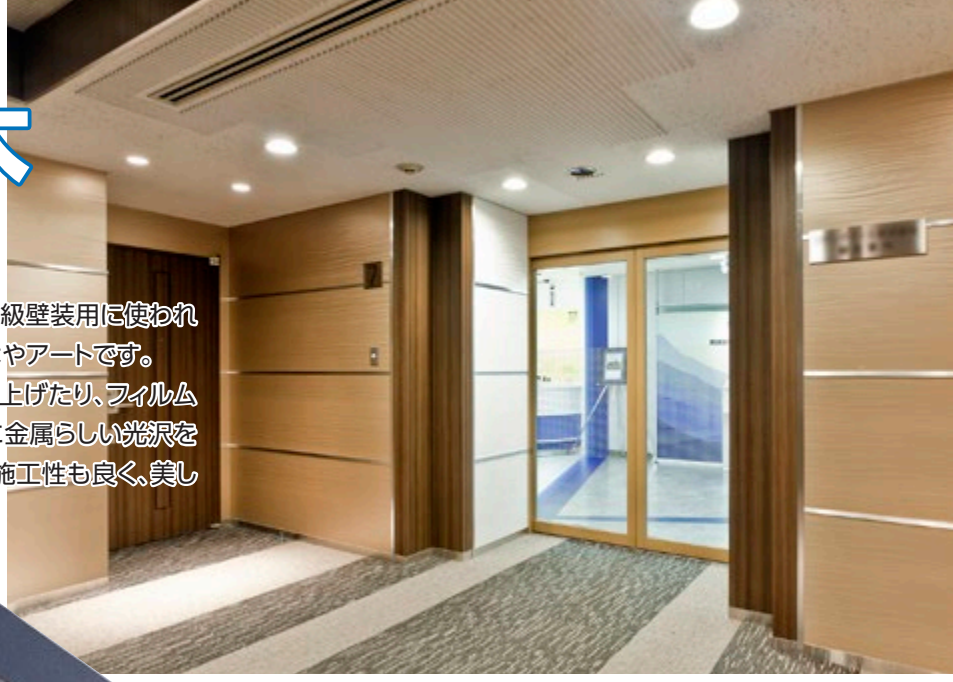


オープニングシール

グロメット

グラスランチャンネル

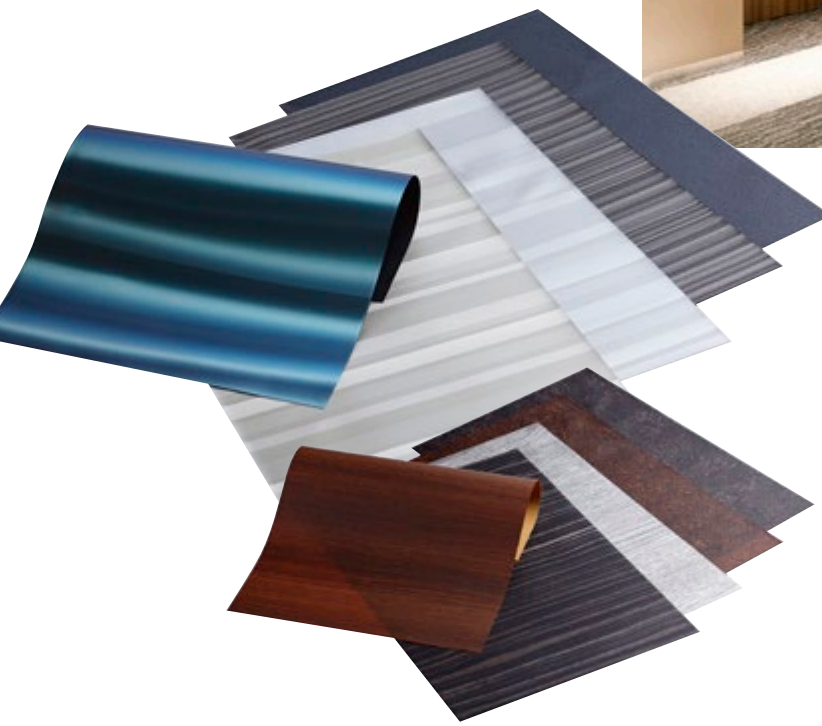
建装、土木



事例06 高級壁装材

美しい空間づくりに欠かせない壁紙。特に高級壁装用に使われるリケンテクノスのフィルムの加工技術は、もはやアートです。

本物にしか見えないように木目フィルムを仕上げたり、フィルムの表面に心地よい触感を与えたり、金属以上に金属らしい光沢を付与したり。デザインだけではなく、現場での施工性も良く、美しく仕上がります。



営業本部 建材・建装材ビジネスユニット
建材・建装材東京グループ 課長代理 **加藤（かとう） 嘉丈（よしたけ）**

リケンテクノスの配合加工技術であるフィルムの製膜、エンボスラミネート、粘着加工技術を活かし、高級壁装用フィルムを提供しております。中でも、表面に耐汚染性を考慮したフィルムや、表面のキズ防止の処理を施したフィルムは、高い技術力により実現した機能です。

質感にもこだわった表面意匠はお客様にも好評で、ホテルや店舗等の商業施設をはじめとし多くの内装空間に使用されています。

事例07 産業用ホース

ホースには、産業用から庭での水撒き用までたくさんの種類があります。水、薬品、食品、溶剤、油、など色々なものをホースは通していきます。リケンテクノスのコンパウンドは、耐久性、柔軟性、など多くのニーズを満たすことで、長きにわたって使われています。

技術本部 研究開発センター
第5開発室 第2グループ
大澤（おおさわ） 英夫（ひでお）

「工業用ホース」と一概にいっても、搬送する物質や使用される環境などによって材料に求められる性能はそれぞれ異なります。お客様と打ち合わせを行いながら、要望を的確に捉え用途に合った最適な配合処方の開発を行っています。また、成形加工性に関してもお客様と打ち合わせを行いながら成形現場でも喜ばれるような処方設計を心がけています。

営業本部 建材・建装材ビジネスユニット
建材・建装材大阪グループ
高尾（たかお） 一也（かずや）

私の所属するビジネスユニットでは、工業用ホースの材料となるコンパウンドも販売しております。工事現場や災害救助現場など様々な場面で使用されており、2020年の東京オリンピック開催でもたくさんの需要が見込まれています。

普段の生活の中では直接目に触れる機会は少ないかもしれませんが、皆様が安全・安心に生活できる環境を提供する一翼を担っています。

音楽

事例08 レコード

インターネット経由で音楽を聴くのが当たり前となっている現代でも、アナログのレコードには根強いファンがいます。レコード向けのコンパウンドは、ロングセラー商品です。

営業本部 生活資材医療ヘルスケアビジネスユニット
生活資材医療ヘルスケア 第1グループ
加藤（かとう） 実希子（みきこ）

近年、世界的にレコード回帰の動きがあり、日本でも音へのこだわりが強い世代を中心に人気が再燃しています。これに伴い近年の傾向にも変化が見られます。まず色について、これまでの黒一辺倒から、透明や有彩色などの要望がアーティストから増えているようです。材料については30年以上ほとんど変わらず今にいたっていましたが、こだわりの強い世代からより良い音への要求が高まっており、レコードメーカーも改善に乗り出しています。リケンテクノスグループは、材料面から音質の向上に貢献していきます。

ファッション

事例09 ゴルフバッグ

触り心地にとことんこだわった新しいフィルムACT Leather®（アクトレザー）*。試しにゴルフバッグを制作してみました。バッグのみならず様々な用途に向けて、さらなる開発を続けています。

営業本部 生活資材医療ヘルスケアビジネスユニット
生活資材医療ヘルスケア 第2グループ 塩田（しおた） 智志（さとし）

樹脂の配合設計及びフィルム状にする加工技術を応用し、新たな提案・感動を届ける製品を開発しています。【生地】ACT Leather®（アクトレザー）という製品もその開発品のひとつです。生地化という開発は、初挑戦であるがゆえに、手探りで試行錯誤を続けてきました。ようやく形になり、初めて触れたお客様に驚きと感動を届けることができるようになってきました。

ソースがこぼれても簡単にふきとれます

技術本部 研究開発センター 第1開発室
第1グループ（埼玉駐在） 副主任研究員
小熊（おぐま） 利夫（としお）

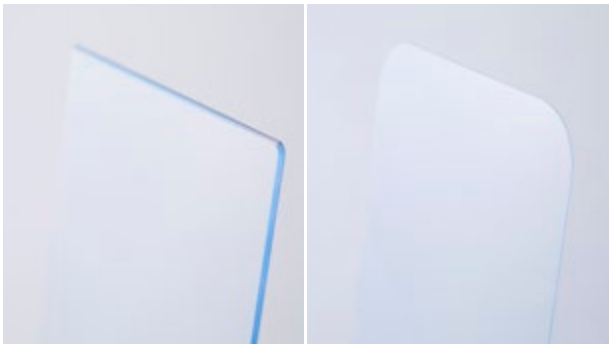
耐摩耗性、耐汚染性などの特長を活かした鞄用レザーシートの開発に取り組んでいます。開発の過程で苦労することは、鞄用レザーシートとしての物性だけでなく、縫製性能まで含めた評価が難しいことです。リケンテクノスにとっては、新しい分野なので、果敢にチャレンジして開発を進めます。

*【生地】ACT Leather®（アクトレザー）：E触感®エラストマーシートを表皮とした生地との複合素材です。

ディスプレイ

事例10 スマートフォン

ガラスの表面を保護するフィルム、ひいてはガラスそのものの替わりとなるフィルムを開発してきました。軽くて、割れない、その上色々な機能も持っています。用途に合わせ、たくさんのグレードが完成しています。



営業本部 情報電子ビジネスユニット 情報電子グループ　担当課長　友松（ともまつ） 弘行（ひろゆき）

リケンテクノスは、様々な部材用に光学用製品を提供してきました。今回新たに世界初のアクリルイミド系フィルムとしてREPTY®(リプティ®)DC100を開発しました。

このREPTY®(リプティ®)DC100は、とても硬く(高硬度)かつ、光学特性に優れた素材で、ガラスに替わる安全軽量素材として期待されています。すでにモバイル用に多くご採用いただき、これからは、車載や医療機器、産業用としても大きな注目を浴びております。是非、この「グラスチックフィルム*」を手に取ってご覧いただければと思います。

*グラスチック：グラス(ガラス／glass)とプラスチック(plastic)を掛け合わせたもの。ガラスような透明感や強度を持つプラスチックのこと。

事例11 3次元曲面成型

ガラスの替わりとなるフィルムに、美しいデザインを持たせることもできます。

3次元曲面に合わせて加工できるので、車載ディスプレイなど用途が広がります。

ココがすごい！

曲げ加工ができます

技術本部 第7開発室 第1グループ　鷲尾（わしお） 望（のぞむ）

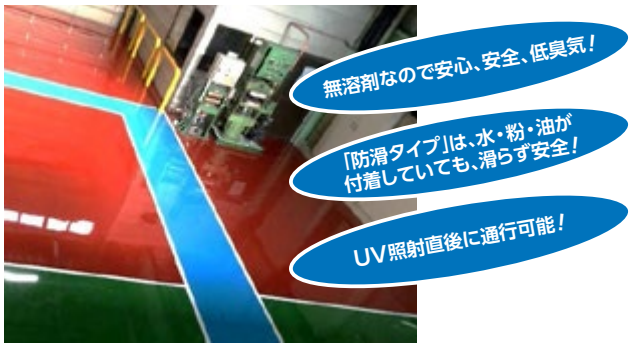
「ガラスよりガラスっぽい」素材として、REPTY®(リプティ®)DC100が完成し、その見た目の美しさと優れた特性から、これまでモバイル用途を中心に、多くのお客様にご使用いただき、快適さを感じていただいています。

今後の開発では、モバイル用途だけではなく、車両用途を含む幅広い展開を目指します。REPTY®(リプティ®)DC100の進化版にご期待ください。

リキッドコンパウンド

事例12 エポキシ床用UVコーティング

フロアー用のコーティング材で、工場や店舗の床などに最適です。
ヒールマークと呼ばれる靴の汚れがつきにくく、清掃性もアップし美観を維持できます。



営業本部 ソリューションビジネスユニット
営業グループ
中川（なかがわ） 智之（ともゆき）

工場や倉庫の床には一般的に樹脂床材が塗られていますが、フォークリフトの走行による傷や靴底による汚れの付着が数多く見られます。リケンテクノスのUVコーティングは、傷や汚れがつきにくく、汚れが付着しても簡単に取り除くことができます。

リケンテクノスのUVコーティングが、お客様の作業環境、生活環境向上に少しでもお役に立てるよう取り組んでまいります。

事例13 外装用遮熱コーティング

建物内を涼しく保ち、冷房の消費電力が減り省エネにつながります。

高防汚、高耐候、遮熱、の3つの効果で、美観を長期維持！
高日射反射率80%！（※リケンテクノス測定値）
遮熱と断熱のダブルの効果！

営業本部 ソリューションビジネスユニット　開発グループ　岡安（おかやす） 孝太（こうた）

リケンテクノスの遮熱コーティングは、柔軟な塗膜と高い日射反射率を両立しているコーティングです。また、汚れに強く、劣化しにくいトップコート材との併用で高い遮熱性能を長期間持続可能です。本来、東南アジアなど暑い地域で採用が見込まれる製品でしたが、近年の異常ともいえる夏の暑さで、国内外問わずお客様の工場や倉庫に採用いただいております。

食品包材

事例14 TSUTSUMU（つつむ）

耐熱温度が220℃のクッキングシートです。
透明なフィルムのため、包んだまま料理を魅せることができ、演出の幅が広がります。

リケンファブロ株式会社
営業部 大阪支店長　森（もり） 良美（よしみ）

TSUTSUMU（つつむ）は、料理を包んだまま提供できます。食べる直前まで、料理が包まれているので、香りや旨みが逃げずかつ温かいままです。また、事前に仕込みをしたTSUTSUMU（つつむ）料理を、スチームコンベクションオーブンで調理すれば、大量調理が可能になり大人数向けでも温かく香り高い料理を提供できます。

TSUTSUMU（つつむ）は、リケンファブロの電子レンジに強いフォーラップがヒントとなり誕生しました。耐熱温度180℃のフォーラップで調理ができないかと思い、肉や魚をベースに香り高い野菜を包んでオーブンで調理してみたのが始まりです。料理に華やかさを持たせることと、耐熱温度を上げることを目指し、現在の素材となりました。

新しい価値を生み出すために、TSUTSUMU（つつむ）を多くの分野に使っていただけるように提案し続けてまいります。

グリーンアスパラガスのオーブン焼き
東京の青山にあるレストラン「フロリレージュ」の新進気鋭のオーナー川手シェフによるオリジナル料理です